

教育支援・教養労働者ネットワーク

概要報告の目的：

- 同部門の取り組みを EB-148 に報告する。

関連：

- ✓ 第33号大会決議

背景：このネットワークは、AFTが提出し、ダーバンでの前回大会で採択された第33号決議の具体的な成果である。2014年11月にアルゼンチンのブエノスアイレスで開かれた、教育支援・教養労働者（ESCW）ネットワークの設立会議では、ESCWを対象としたPSIの調査や、事例の共有、新たな課題に対する戦略的計画の策定などについて議論がスタートした。2015年5月29日には、ジュネーブでESCW調整委員会が会合し、ルビー・ニューボールド氏（AFT）が委員長に、マルセロ・ディ・ステファノ氏（アルゼンチンのAPUBAとCONTUA）が副委員長に選出された。

議論：

ESCW 調整委員会は、下記を含み、ネットワークの取り組みの枠組みとなる優先課題をいくつか確認した。

- 民営化との戦い
- PSI 内外でネットワークの認識を拡大させる
- よりプロフェッショナルな発展の機会を唱導する
- ネットワークを、司書や博物館・美術館職員、その他教養労働者に拡大する
- 一部の国で尊重されていない結社の権利と CBA を擁護する
- ESCW メンバーが加盟する組合のために、人間らしい賃金と人間らしい労働条件を求めて戦う
- 教育支援と教養労働の非正規化問題に取り組む
- 質が高く、誰もが利用できる教育が社会にとって果たす役割を強調する
- 緊縮財政および予算削減と戦う

調整委員会は、ESCW ニュースレターを通じて委員会メンバーを PSI コミュニティーに紹介する「わたしの体験談」キャンペーンを立ち上げた。これまで、ニュースレターは英語、フランス語、スペイン語で2回発行され、全 PSI 加盟組合に配布された。第3号は2016年4月に予定されている。

2015年10月14～21日、ロンドンにて教育民営化に関する NGO コンソーシアムと行った一連の会合に、PSI 教育支援ネットワークを代表してエヴェリン・アケッチ氏（ウガンダ、NUEI）とサンドラ・ヴェルムイテン氏（PSI キャンペーン担当）が参加した。

2015年、ESCW は、エクアドルからイギリスまで、多くの国際連帯要請に応えてきた。この取り組みを継続し、2016年も拡大していく。

現在調整委員会は次回の会合を2016年後半に計画している。

予算面：なし

次のステップ：2016年のESCW ネットワーク調整委員会会議を計画し、2016-2017年のワークプランを承認する。

EB-148 に対し以下を勧告する。:
1. ESCW の継続的な取り組みを支持する。

はい/いいえ

関連資料:

- <http://world-psi.org/en/charter-psi-education-support-and-cultural-workers-network>
- Newsletter No. 1 August 2015: <http://ow.ly/10xeN>
- Newsletter No. 2 November 2015: <http://ow.ly/10ox9D>